

「ラブ」クラブ ～私たちの活動日誌～

Vol.33 つくし 土筆会

土筆会は、昼の部3名、夜の部7名の合計10名で現在活動しています。

書道には、書道普及会による昇級試験が年2回あり、皆昇級を目指し、日々研さんを積んでいます。また、町文化祭や、成田空港第1ターミナルで年1回行われる書展にも作品を出展しています。さらに、祝儀袋や年賀状など筆字が必要な場面で、普段の練習の成果を発揮しています。

土筆会の講師は長谷川光政先生です。先生の筆先は自由自在で、「まるで魔法の筆のよう」という言葉も聞かれます。その魔法の筆で、私たちに美しい字を丁寧に指導してくれます。

自由時間が少しできたら、習字をしてみませんか。皆さんの参加をお待ちしています。



2017年秋季昇級試験の作品選考風景



活動メモ

対象者/筆字に興味のある方

活動日/毎月第1・第3火曜日

昼の部 午後1時30分～3時30分

夜の部 午後7時～9時

活動場所/中央公民館

連絡先/高橋 節子

☎090-5774-6804

あとがき

◆1月22日、関東地方に大雪が降りました。幸いにも町内で人的被害はなかったようですが、交通機関の乱れなど大きな影響がありました。私も22日の帰宅時、道路でスリップしている自動車を見ながら、おっかなびっくり運転して帰りました。◆現代では厄介者の雪ですが、江戸時代には雪の結晶のブームがあったようです。古河藩(現茨城県古河市)藩主・土井利位は雪の結晶を20年にわたり観察し、その成果を「雪華図説」という本にまとめました。すると江戸庶民の間で雪の結晶が大流行。着物や小物の柄として多用されたのです。◆次に雪が降った際には、苦労して研究を成し遂げた殿様や、流行に夢中になった江戸っ子に思いをはせてみてはいかがでしょうか？ (Y)

◆今月号の表紙は「成人式」です。華やかな晴れ着に身を包み、笑顔で自撮りをしている素敵な一枚。きつとスマホの中にも一生記念に残る写真がたくさん保存されたと思います。新成人の皆さん本当におめでとうございます。◆広報内でもお知らせしましたが、町のPVが完成しました！このPVは有志の皆さんが、愛する「地元」の魅力を存分に引き出した作品です。若い感性で作られたこの作品をぜひご覧ください。◆話しは変わりますが最近、初級者向けの中国語の本を買いました。しかし買った当日、居酒屋に忘れてきました。(後日取りに伺いました、反省！)「謝謝」「你好」しか知らない私ですが、少しでも話せるように頑張ります！ (A)